



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月12日

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所 東
 コード番号 6396 URL <http://www.unozawa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇野澤 虎雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田村 博 (TEL) 03-3759-4191
 兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,911	6.1	△66	—	△72	—	△28	—
26年3月期第3四半期	2,745	12.9	30	—	31	—	94	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第3四半期	△2.55		—					
26年3月期第3四半期	8.41		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,703	—	1,482	—	22.1	—
26年3月期	6,321	—	1,534	—	24.3	—

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,482百万円 26年3月期 1,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	4,000	5.9	10	△86.7	5	△92.7	35	△68.6	3.14	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	11,200,000株	26年3月期	11,200,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	150,384株	26年3月期	22,479株
----------	----------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期3Q	11,163,133株	26年3月期3Q	11,177,622株
----------	-------------	----------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料2ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による各種経済・金融政策の推進によって円安・株高傾向が続く、輸出企業を中心に緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、消費マインドの低下、急激な円安による輸入物価上昇への懸念、ヨーロッパや中国他新興国経済の動向、国際的な政情不安の影響等、先行きには不透明感を残す状況が続いております。

当社を取り巻く環境としましては、中小企業の業況回復は足踏み状態にあること、また当社の受注・売上に直接的な影響が大きい国内設備投資が引き続き盛り上がり欠けるなか、価格競争は激しく、依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社の業績は売上高2,911百万円(前年同四半期比6.1%増)となりました。損益面におきましては、営業損失66百万円(前年同四半期は営業利益30百万円)、経常損失72百万円(前年同四半期は経常利益31百万円)、四半期純損失28百万円(前年同四半期は四半期純利益94百万円)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

①製造事業

売上高につきましては、第2四半期会計期間に引き続き、液晶関連の真空ポンプの出荷が進み、第1四半期における前年同四半期比32.2%の大きな減少を挽回し、当第3四半期累計期間では2,514百万円と前年同四半期比6.9%の増加となりました。

損益面につきましては、セグメント損失353百万円(前年同四半期はセグメント損失254百万円)の計上となりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは1,393百万円(前年同四半期比5.9%増)、送風機・圧縮機は436百万円(前年同四半期比48.4%増)、部品および修理は677百万円(前年同四半期比6.2%減)、ドレンポンプ等のその他は6百万円(前年同四半期比67.4%減)の結果となりました。

なお、当四半期末の受注残高は、前年同四半期比47.3%増の937百万円となっております。

また、輸出関係におきましては、インド向けの大型案件がありました。前年同四半期の中国向け大型案件の反落等を補えず、売上高は432百万円(前年同四半期比19.7%減)となりました。

②不動産事業

オフィスビル賃貸市場の底打ちを受け、売上高は396百万円(前年同四半期比1.3%増)、セグメント利益286百万円(前年同四半期比0.5%増)の計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は381百万円増加し6,703百万円、負債は433百万円増加し5,220百万円、純資産は51百万円減少し1,482百万円となりました。総資産の増加は、現金及び預金が111百万円、投資その他の資産が117百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が500百万円、たな卸資産が139百万円増加したこと等が主な要因です。

負債の増加は、長期借入金が183百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が473百万円増加したのが主な要因です。

純資産の減少は、利益剰余金が28百万円減少、自己株式が21百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前事業年度末比2.2%低下し、22.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は現在の事業環境下、入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況下、受注の確保・原価低減及び諸経費の削減に重点を置いた諸施策を実施するとともに、業務の質を高め、諸施策を迅速かつ確実に遂行し、環境変化に強い利益体質を確立するよう努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,641,926	1,530,571
受取手形及び売掛金	1,191,391	1,692,116
たな卸資産	598,786	738,775
その他	49,778	21,834
流動資産合計	3,481,881	3,983,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,510,358	1,506,286
土地	631,643	631,643
その他(純額)	98,876	101,446
有形固定資産合計	2,240,878	2,239,376
無形固定資産	5,451	4,451
投資その他の資産		
その他	602,551	485,303
貸倒引当金	△9,136	△9,103
投資その他の資産合計	593,414	476,199
固定資産合計	2,839,744	2,720,027
資産合計	6,321,626	6,703,324
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	621,785	1,094,878
短期借入金	1,042,136	1,093,530
未払法人税等	29,504	-
賞与引当金	63,602	19,470
その他	203,414	308,196
流動負債合計	1,960,441	2,516,075
固定負債		
長期借入金	1,906,794	1,723,233
退職給付引当金	438,576	470,767
役員退職慰労引当金	118,600	124,990
その他	362,766	385,388
固定負債合計	2,826,737	2,704,378
負債合計	4,787,178	5,220,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,930	303,930
利益剰余金	261,448	233,010
自己株式	△7,051	△28,785
株主資本合計	1,343,327	1,293,155
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	191,119	189,715
評価・換算差額等合計	191,119	189,715
純資産合計	1,534,447	1,482,871
負債純資産合計	6,321,626	6,703,324

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,745,224	2,911,860
売上原価	2,293,764	2,509,828
売上総利益	451,459	402,032
販売費及び一般管理費	421,023	468,878
営業利益又は営業損失(△)	30,435	△66,846
営業外収益		
受取利息	738	606
受取配当金	5,775	6,983
助成金収入	8,248	-
その他	22,162	21,073
営業外収益合計	36,925	28,663
営業外費用		
支払利息	34,818	32,754
その他	1,310	1,549
営業外費用合計	36,128	34,304
経常利益又は経常損失(△)	31,232	△72,487
特別利益		
固定資産売却益	1,242	149
投資有価証券売却益	-	51,580
保険解約返戻金	67,456	-
特別利益合計	68,699	51,730
特別損失		
固定資産除却損	1,153	4,113
特別損失合計	1,153	4,113
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	98,778	△24,870
法人税等	4,741	3,567
四半期純利益又は四半期純損失(△)	94,036	△28,438

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期会計期間(自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期会計期間(自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,353,353	391,871	2,745,224
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,353,353	391,871	2,745,224
セグメント利益又は損失(△)	△254,975	285,411	30,435

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業利益)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,514,869	396,991	2,911,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,514,869	396,991	2,911,860
セグメント利益又は損失(△)	△353,793	286,947	△66,846

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業利益)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(セグメント別売上高)

(単位：千円)

製 造 事 業	前第3四半期 平成25年4月1日から 平成25年12月31日まで		当第3四半期 平成26年4月1日から 平成26年12月31日まで		対前期比増減	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	増減率%
製品別						
真空ポンプ	1,315,713	47.9	1,393,876	47.9	78,162	5.9
送風機・圧縮機	294,027	10.7	436,406	15.0	142,378	48.4
部品及び修理	722,535	26.3	677,706	23.3	△44,829	△6.2
そ の 他	21,076	0.8	6,880	0.2	△14,196	△67.4
製造事業計	2,353,353	85.7	2,514,869	86.4	161,515	6.9
内(輸出品※)	(537,996)	(19.6)	(432,118)	(14.8)	(△105,877)	(△19.7)
不 動 産 事 業	391,871	14.3	396,991	13.6	5,120	1.3
合 計	2,745,224	100.0	2,911,860	100.0	166,636	6.1

(注) ※の輸出品構成比率は売上高合計に対するものです。

(製造事業受注高及び受注残高)

(単位：千円)

製 造 事 業	受 注 高			受 注 残 高		
	前第3四半期	当第3四半期	対前期比増減	前第3四半期	当第3四半期	対前期比増減
製品別						
真空ポンプ	1,170,710	1,560,658	389,948	312,743	415,774	103,030
送風機・圧縮機	284,131	554,603	270,471	204,155	398,061	193,905
部品及び修理	761,352	707,843	△53,509	105,755	123,824	18,068
そ の 他	34,176	6,880	△27,296	14,100	0	△14,100
合 計	2,250,370	2,829,985	579,614	636,755	937,660	300,905